■ごあいさつ

東北工業大学後援会　山形県支部　支部長　三澤　桂一

後援会山形県支部の御父兄の皆様へ、今年度の山形県支部報「最上川第 27 号」をお届けします。私は、東北工業大学後援会・山形県支部の支部長を仰せつかり４年目になりました三澤と申します。よろしくお願いいたします。早いもので長男が都市マネジメント学科を卒業し、社会人７年目になり、現在は県内の建設会社に勤務しております。

休日に少年野球の審判をしている三澤支部長

さて、今年度の山形県支部の活動としましては、新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、支部総会及び父母懇談会を、山形テルサにて開催することができ、ご父母 35 名の参加をいただきました。また、４年ぶりに開催したキャンパス見学会には、48 名の参加をいただいたほか、父母懇談会に出席できなかった方向けの地区別父母懇談会を東京第一ホテル鶴岡にて開催し、13 名の参加をいただきました。コロナウイルス感染状況を注視しながらの活動でしたが、ご父母の皆様のご協力のもと、今年度の活動も、残すところ本会報「最上川」の発行のみとなりました。

本会報「最上川」を通じて、私から皆様へメッセージがございます。まずは、御子息、御息女の大学生活に支障をきたしていないかご確認いただきたいという点です。感染へのリスク、学生のメンタルケア、経済的事情による学業継続の困難、就職活動の問題、その他にもこのコロナ禍による様々な問題があるかと思います。学生一人で悩むことなく、大学の先生や職員に相談していただき、大学生活に支障をきたすことの無いようにお願いしたいと思います。パソコン等の Web ブラウザで「東北工業大学ホームページ」にアクセスしていただきますと、大学側からの様々な情報を得ることができますので、こちらもご確認いただければと思います。

最後に嬉しい報告として、今年度新たに現役学生ご父母より４名の支部幹事への加入を得て、支部役員は合計 10 名となりました。今後も現役ご父母の目線で支部活動を盛り上げて頂きたいと思いますので、引き続き皆様のご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

■令和４(2022)年度　後援会山形県支部役員（令和５年１月１日現在 ・ 加入順）※＝今年度新規加入の幹事

支 部 長	三澤　桂一	（山形市）	幹　事	小林　雅史	（山形市）	
事務局長	斎藤　俊之	（山形市）	幹　事	山口　　薫	（飯豊町）	※R4 新規加入
幹　　事	加藤　元康	（川西町）	幹　事	五十嵐　志真	（鶴岡市）	※R4 新規加入
幹　　事	斎藤　雅博	（舟形町）	幹　事	土田　　裕	（鶴岡市）	※R4 新規加入
幹　　事	佐々木　健一	（山形市）	幹　事	五十嵐　恵	（新庄市）	※R4 新規加入

■令和５(2023)年度　山形県支部総会・父母懇談会開催日程

是非ご参加下さい！

１．期 日：令和５(2023)年６月３日（土）

２．場 所：ヤマコーホール　山形市香澄町 3-2-1（山交ビル７階）⇒例年と異なる会場ですのでご注意ください。

※時間は現時点で未定です。（例年は 12：30～総会、13：00～懇談会です）詳細は後日改めてご案内いたします。（事前申込制です）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によりましては、変更・中止等となる場合があります。

■令和４(2022)年度の山形県支部の活動の様子

令和４年６月４日（土）	山形県支部総会･父母懇談会	
	会場：山形テルサ（3 階アプローズ）	山形県支部参加者：29 組 35 名

支部総会の様子です
（前方に座っているのが山形県支部の役員です）

大学教員とご父母との
個別面談の様子です

令和４年 10 月 15 日（土）	大学見学会	
	会場：東北工大八木山キャンパス	山形県支部参加者：27 組 48 名

山形から参加頂いたご父母の
記念写真を撮影しました

全体集会と写真撮影後は
大学祭も見学して頂きました

令和４年 11 月 19 日（土）	地区別懇談会（庄内地区父母懇談会）	
	会場：東京第一ホテル鶴岡	山形県支部参加者：10 組 13 名

ご父母と支部役員が懇談している様子です
（庄内地区と最上地区のご父母が参加されました）

大学教職員とご父母との
個別面談の様子です

★支部幹事会：第１回４/23(土)、第２回８/６(土)、第３回 11/19(土)に開催しました。

★支部会報　：令和５年１月 31 日に「最上川 第 27 号」（本紙面）を発行しました。

■コラム（地区幹事から　～長井市のご紹介～）

山形・村山地区幹事：小林　雅史

今回は、私が生まれ育った長井市を紹介させていただきます。長井市では、水をテーマとした河川公園や水辺を歩いて楽しむことを目的とした「フットパス」の整備等を行い、観光協会や商工会議所等に加え、NPO や市民団体等が参画し、河川でのイベントやお祭りなど、市民参加による行事を多く開催し、市民の憩いの場として利用されています。

長井市街地と最上川

「フットパス」とは、イギリス発祥の「歩くことを楽しむための小道」のことをいいます。国土交通省の直轄事業として全国で初めて整備されたもので、2003 年度（平成 15 年度）から工事に着工し、2005 年（平成 17 年）6 月に置賜白川と最上川の合流点付近で「最上川フットパスながい」の完成式が行われました。この場所は、吾妻連峰を水源とした松川と長井市を流れる置賜白川と合流して、最上という名称になっていたことから最上川発祥の地と呼ばれています。ここから見える景観は、最上川ビューポイントにも指定されています。

長井の市街地は川に囲まれ、最上川が東側を流れ、飯豊連峰から置賜白川が流れており、朝日連峰から置賜野川が流れてきます。最上川沿いを歩くフットパスルートは、最上川沿いの置賜白川の合流点から置賜野川の合流点までの左岸に散策を楽しめる小道を設けた外、小さな川を横断する木橋や飛び石、案内看板などを設置しています。また、四季折々の野の花を眺め、小鳥の声や川のせせらぎの音を聞きながら自然を満喫することができます。また、街なかの水路、川沿いの小路を巡る散策が楽しめます。

最上川を利用した貨物の輸送などは、かつての長井に経済的な富ももたらしました。最上川舟運が発達した江戸時代には、舟で現在の米沢市にあたる上杉藩へ荷物の輸送を行っていました。長井は、最上川舟運のもっとも上流地点であると同時に、米沢への中継拠点であったことから、街なかには水路が張り巡らされ、水路近くに商家が多く集まる町場が繁栄しました。現在でも、建物等に当時の面影が残っており国の重要文化的景観に認定されています。

このように長井では「かわとまち」が融合するような「かわまちづくり」を進めています。観光交流センターでもある道の駅「川のみなと長井」の整備コンセプトは、「最上川舟運時代の港町として歩んだ商工業都市の歴史・自然にふれあう空間づくり」として環境整備を進めています。 また、水の長井とも呼ばれ水を守る取組も進めており、1989 年（平成元年）には森を保全するため「不伐（ふばつ）の森条例」を全国で初めて定め、現在は 2 箇所の森が保存されています。森には、水をためる貯水能力があって森を守ることが水の保存にもつながるといった観点から、この取組みを推進しています。

昔から豊富な水に恵まれてきた長井、その水は、全国的にもめずらしい硬度１８の超軟水です。朝日連峰の山々でろ過された安全で優しくおいしい水が飲めます。（おいしい水は、醤油屋に伝わる「あけがらし」やビジネスクラス採用のお酒にも変身）その一方で長井では洪水被害が度々発生する等、水の脅威にもさらされてきました。特に置賜野川は、大雨のたびに氾濫が起こることから暴れ川と呼ばれ、そのたびに堤防の強化が行われてきました。そこには現在もなお先人達の知恵と技術の跡が今も残されており、江戸時代の石積みや明治時代の石積み、昭和のコンクリートの護岸が残り、治水工事の歴史がわかる空間です。

長井ダム上流の『三淵渓谷』
（花崗閃緑岩の亀裂）

現在では、置賜野川の上流には長井ダム、置賜白川の上流には白川ダムがあり、両ダムとも国土交通省が管理しています。これらのダム建設は、1967 年（昭和 42 年）に羽越豪雨が最上川流域を襲い激甚災害に指定されるほどの壊滅的な打撃を与え、その爪痕が残る中、1969 年（昭和 44 年）8 月にも集中豪雨による被害が発生したことがダム建設のきっかけとなっています。是非、皆様も長井の自然や文化、舟運の歴史などに触れられる様々なフットパスコースをゆっくり歩いていただき、車では通り過ぎてしまう長井の良いところを発見し、長井の魅力を感じ取っていただきたいと思います。

最後に、本稿が掲載される頃には新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、新たな社会ルールの下、経済が少しでも上向きになり、会食など様々な行動規制が緩和されていることを祈るばかりです。

■山形県出身学生の『就職・進路状況』（2021 年度（2022 年 3 月卒業生）の状況）

山形県出身卒業生
（2022 年 3 月卒業生）
40 名の進路内訳

▶就職 37 名
▶進学 2 名
▶その他 1 名

学部	山形県出身卒業生（2022年3月卒）の就職先企業	
工学部	株式会社フォーラムエンジニアリング	布施建設株式会社
	秋田精工株式会社	仙建工業株式会社
	JR東日本ビルテック株式会社	株式会社アーネストワン
	株式会社かわでん	沼田建設株式会社
	株式会社NTTファシリティーズ	株式会社市村工務店
	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北	株式会社菅原工務所
	リコージャパン株式会社	東北発電工業株式会社
	株式会社ウエノ	一般財団法人宮城県建築住宅センター
	株式会社ＴＴＫ（３人）	升川建設株式会社
	マグナ通信工業株式会社	弘栄設備工業、黒澤建設工業株式会社
	株式会社SHINKO	株式会社ヤマギシリフォーム工業
	NDソフトウェア株式会社	日本都市技術株式会社
	株式会社NTT東日本 東北	升川建設株式会社
	YCC情報システム株式会社	国土交通省
	株式会社スクールブルミエ	大東建託株式会社
ライフデザイン学部	エムテックスマツムラ株式会社	ジョンソンコントロールズ株式会社
	株式会社仙台紙工印刷	キューアンドエー㈱
	中城建設株式会社	

■山形県出身学生の『在籍状況』（2022 年 4 月 1 日現在）

【出身地域別】（単位:人）

地域	地域別・学年別 1年	2年	3年	4年	計	地域計
山形市	21	21	12	21	75	156
上山市	2	1	2	3	8	
天童市	3	5	3	6	17	
東根市	3	5	3	1	12	
村山市	2	4	3	1	10	
尾花沢市	2			1	3	
北村山郡	1				1	
寒河江市	4	2	3		9	
西村山郡	1	4	4		9	
東村山郡	4	1	5	2	12	
新庄市	3	3	3	4	13	24
最上郡	2	5	2	2	11	
酒田市	6	2	2	11	21	37
鶴岡市	5	4	1	1	11	
東田川郡		1		1	2	
飽海郡			1	2	3	
長井市	1	1	3	3	8	45
南陽市	4	1	1	1	7	
米沢市	2	3	2	3	10	
西置賜郡	6	4	2	4	16	
東置賜郡	1	1	1	1	4	
計	**73**	**68**	**53**	**68**	**262**	**262**

【学科別】（単位:人）

学科	学年 1年	2年	3年	4年	計	学科記号
電気電子工学科	15	13	14	13	**55**	E
情報通信工学科	20	20	10	18	**68**	T
都市マネジメント学科	7	4	8	4	**23**	C
環境応用化学科	5	8	5	5	**23**	K
建築学科	14	15	7	17	**53**	A
産業デザイン学科	4	2	2	6	**14**	CD
生活デザイン学科	5	4	4	4	**17**	SD
経営コミュニケーション学科	3	2	3	1	**9**	MC
計	**73**	**68**	**53**	**68**	**262**	

事務局より

★後援会活動の情報をお届けするため、後援会 web サイトを開設しております。過去の支部会報のほか、父母懇談会に関する情報や支部総会資料なども掲載されておりますので、ご覧ください。

【URL】https://tohtech-koenkai.org/ 【後援会 Web サイト】

★支部会報の表紙（タイトル部分）に掲載する「最上川の風景写真」を募集しております！！
もし趣味で写真撮影などされている方で、よい眺めの写真をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までお寄せください！

★本紙と併せて、「データで見る東北工業大学(Vol.2)」と、渡邉学長の教育改革インタビュー記事が掲載された「教育学術新聞（日本私立大学協会発行：2022.12.7 付）の写し」を同封しておりますので、ぜひご覧ください。

★ご相談、ご質問、情報提供等がございましたら、下記の「山形県支部担当事務局」までご連絡ください。

【事務局】▶▶▶東北工業大学後援会事務局／山形県支部担当：小山内（おさない） 幸広（東北工業大学 大学企画室長）
住所：〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 電話：022-305-3415（直通）
メールアドレス：y-osanai@tohtech.ac.jp